

Ⅲ. 夫の家事・育児への関与と妻の意識

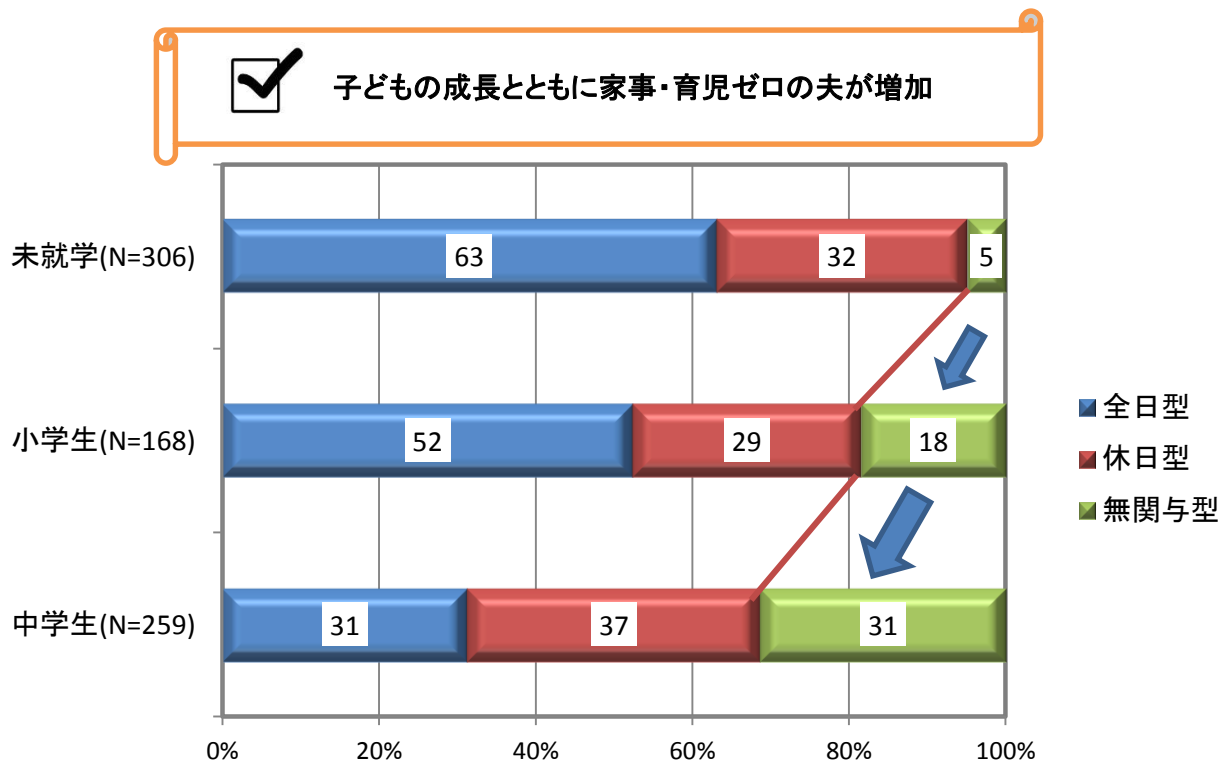
(1) 子どもの成長とともに、平日・休日も家事ゼロの「無関与型」夫が増加

ワーク・ライフ・バランスや「イクメン」といった言葉が話題になる中で、夫の家事・育児への関与は改めて注目されている。ここでは、夫がどのくらい家事・育児に時間を費やしているのか、その実態を調べてみた。

まず、平日と休日の夫の家事・育児の時間をそれぞれ「関与なし（0分）」と「関与あり（10分以上）」の二つに分け、家事・育児に対する夫の関与のタイプ分けを行った。「全日型（平日も休日もともに関与）」「休日型（休日のみ関与）」「無関与型（平日も休日も関与しない）」の3タイプである（「平日型」はごく少数だったため省略）。

一番下の子どもの学齢別に各タイプの割合をみると、「休日型」は未就学・小学生・中学生のいずれでも3割前後となっている。一方、「全日型」は未就学の場合で6割を占めていたが、中学生以上の場合では3割と大きく減少し、「無関与型」が小学生の場合で2割、中学生の場合で3割と増加している。子どもの成長とともに、平日、休日ともに家事・育児にまったく関与しない夫が増えることがわかる。

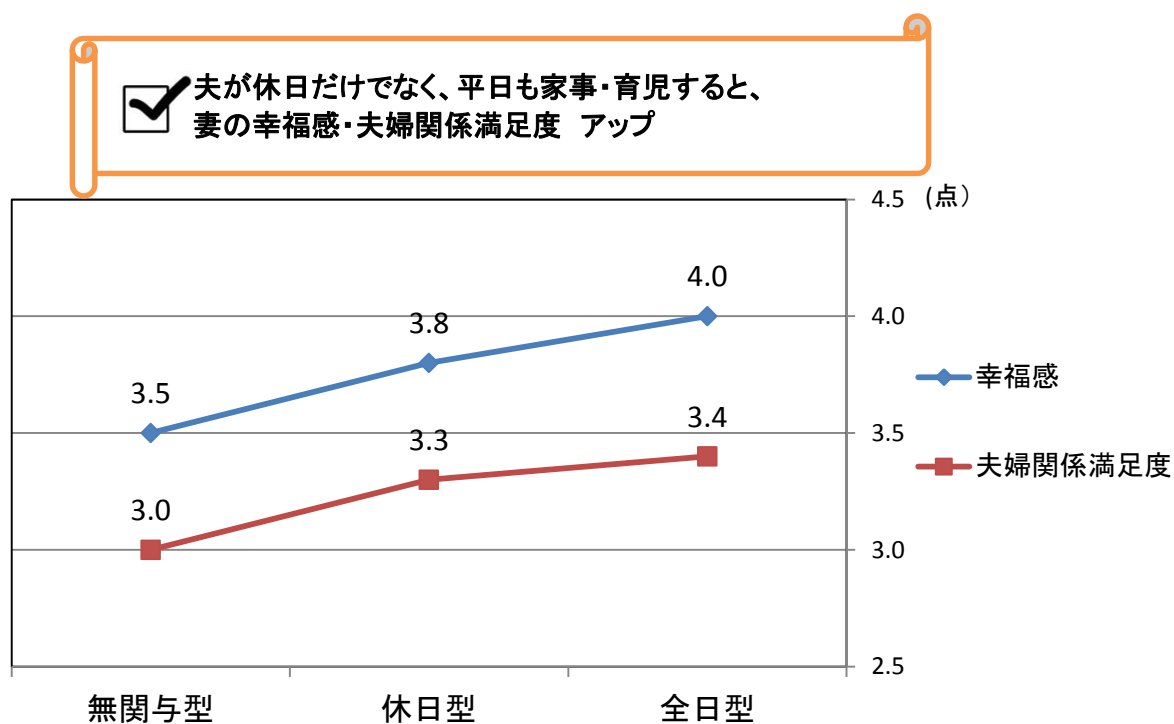
図表Ⅲ-1 一番下の子どもの学齢別 夫の家事・育児への関与



(2) 休日の夫の家事・育児の関与で妻は幸せに、平日の関与でさらに幸せに

夫の家事・育児への関与は、妻の意識とどのように関連しているのか、妻の幸福感（幸せに感じている度合い）や夫婦関係満足度（夫婦関係に満足している度合い）から探ってみた。夫が平日も休日も家事育児ゼロの「無関与型」の妻よりも、夫が休日に少しでも関与してくれる「休日型」の妻のほうが、幸福感・満足度ともに高く、さらに、夫が休日・平日ともに関与している「全日型」の妻のほうがより高い傾向がみられた。

図表Ⅲ-2 夫の家事・育児のタイプ別 妻の幸福感・夫婦関係満足度



注：幸福感、夫婦関係満足度：どちらも1点～5点の範囲で、得点が高い方が満足

(3) 正社員の妻にとって、夫の家事は休日だけでは不十分

夫の家事・育児への関与と妻の意識との関連が、妻の就業形態によってどのように異なるのかを調べた。特に、夫が家事・育児に関与するのが平日なのか休日なのかという点に注目した。

妻が「専業主婦」の場合、「休日型」と「全日型」の幸福感や夫婦関係満足度はともに高い。つまり、平日に夫が家事・育児をあまりしなくても、休日にしてあげればよい（休日の関与が平日の「埋め合わせ」になる）とみられているようである。しかし、平日も休日もしていないと幸福感・満足度ともに低くなっている。

これに対し、妻が「正社員」の場合は、「休日型」で幸福感も満足度も低くなっている。つまり、休日だけ夫が家事・育児をしても「埋め合わせ」にはならないことがうかがえる。働く妻にとっては、夫が「平日」に家事・育児をしていることにこそ、大きな意味があるようである。

図表Ⅲ-3 妻の就業形態別 夫の家事・育児のタイプと妻の幸福感・夫婦関係満足度

